

さあ、中津の春ですよ

中津市長 奥塚 正典

「春は名のみ 風の寒さや」で『早春賦』（大分県出身の吉丸一昌作詞の歌）は始まります。今年は年明け以来、本当に寒い日が多く、まさに名のみ立春でした。でも、各地に立ち並ぶ桜の木々は、寒中にエネルギーをため込んで蓄をつけ始め成長し開花に備えます。これに倣^{なら}って我々も春に向けて力を蓄え、芽吹き^はの準備を進めました。福岡向けに中津観光のPRを仕込み、多くのお客様を呼び込み地域を元気にできるよう情報発信に精出しました。

皮切りは、1月に周防灘地域の商工会議所・商工会が天神で大物産展を3日間開催しました。第2弾は、2月に「地下鉄ジャック」と銘打って、約2週間、福岡の地下鉄の一編成全車両6両を中吊り・棚上広告で中津一色に埋め尽くしました。そして第3弾は、3月に福岡向けテレビコマーシャル「中津は春がオススメ」を打ち出し、青の洞門をバックにユーモラスに訴えかけました。

福岡県は人口500万人を超える大消費地。中津は隣県のせいか、この大市場に対し少し宣伝をおろそかにしていたきらいがあります。「おんせん県おおいた」への観光客数は福岡県からが第1位、その入口が中津です。中津の魅力の数々を知って訪ね長く滞在し体験してもらうことが大切です。別府・湯布院への通過点ではいけません。

いよいよ春本番。頼山陽が耶馬溪と名付けて200年、福澤諭吉が活躍した明治から150



福岡市地下鉄車内広告

年、そして中津の日本遺産認定。今年は自然・歴史・文化・スポーツ・食など、中津のもつ満載の魅力を各地の心温まるおもてなしで売り出すチャンスです。工夫を凝らし外から春の中津に人を引き寄せましょう。もちろん市民の皆様もお楽しみください。童謡『さくらさくら』の結びは「いざやいざや見にゆかん」ですから。